

わが身世にふる…

吉田 真人

最近理解ができないこと、違和感を覚えることが多くなってきた。

TVの天気予報

気象予報士のお姉さんが「昼間はポカポカ陽気でした」といっても、風はまだまだ冷たいと感ずることが多い。秋最中にマフラーと冬用コートで武装した老人をみて、あんなに着込んで暑いだろうに、とかつては思ったものだが、どうやらその年代になつてしまつたようだ。

テイラー・スイフト（アメリカのシンガーソングライター）

今月初旬に東京ドームで4日連続のライブを行った。日本全国や近隣諸国からファンが押しかけ超満員。チケット代は12万円から2万円、実際は数倍のプレミアムが付いたという。4回目のグラミー賞年間最優秀アルバム賞を獲得したばかりで、これまで同賞を3回受賞したのはフランク・シナトラ、ポール・サイモン、ステイビー・ワンダーのみ、彼女の4回は新記録というから人気のほどが窺える。

実際どんな歌なのかと、ユーチューブで聞いてみたが、その良さがさっぱり分からない。美形ではあるが、歌は上手と云えるのか？ 音楽ライブというより計算しつくされたショーだ、という評価もあり、実際に見ないと良さが判らないのか？

かつてホイットニー・ヒューストンやマドンナの歌を初めて聞いたときには、その美声や歌の上手さが理解できた。マドンナ主演の映画「エビータ」のDVDは繰返し見ている。

宮崎駿監督のアニメ映画「君たちはどう生きるか」

吉野源三郎の同名小説を、中学時代に読んだ。ドイツ流のビルドゥングスロマンで、どのように映画化するのか興味があつたが、中身は全くの羊頭狗肉。小説との同一点は最初の5分程のみ、あとは耳を聳せんばかりの大音響と荒唐無稽な展開が続く。そういう、8年前のアニメ映画「君の名は。」も、我々が知っている物語とは全く別物であつたようだ。紛らわしい、と思うほうが今や少数派らしい。

尚、今年のアカデミー賞でこの作品が、長編アニメーション賞にノミネートされた。またまた吃驚である。

(2024年2月22日)